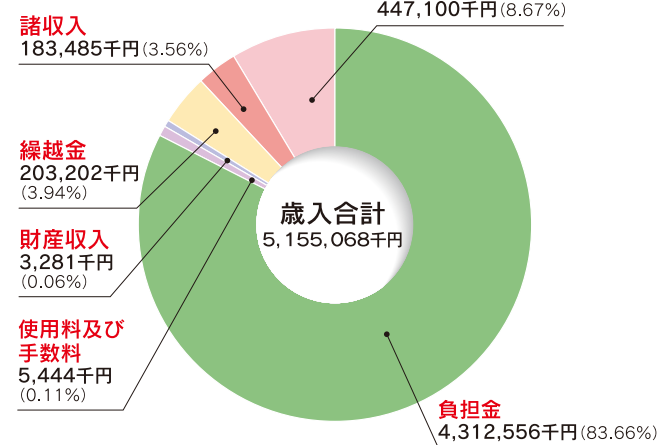


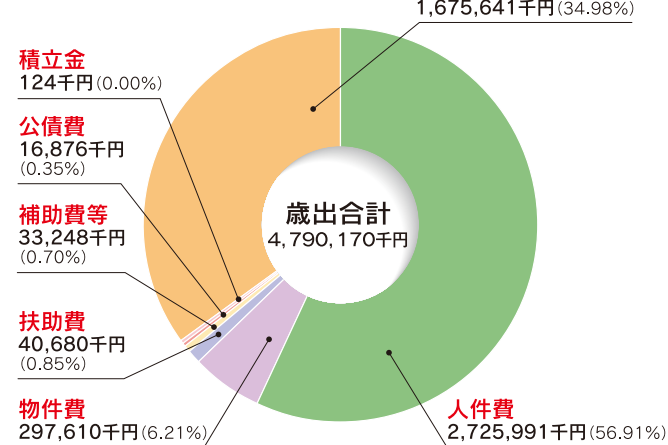
平成25年度 久留米広域消防本部の決算状況

歳入決算額



※負担金には、筑後地域7消防本部からの共同指令センター整備事業費負担金992,167千円を含みます。

歳出決算額



※普通建設事業費には、筑後地域の8消防本部による共同指令センター整備事業費1,479,926千円を含みます。

『緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練』開催
～九州各地の消防車が久留米に集結！～

この訓練は地震や津波などの大規模な災害が国内で発生した場合を想定し、九州各県の消防本部が集結して様々な訓練を実施するものです。
今年も久留米市河川敷をメイン会場に、消防防災関係機関から消防車両等約200台、総勢約1,000名が参集し、大規模かつ最先端の訓練が行われます。



日時 平成26年11月22日(土)～23日(日)
場所 久留米市東柳原地先(筑後川の陣橋～小森野橋)河川敷
主催 緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練福岡県実行委員会

福岡県 総務部防災危機管理局消防防災指導課消防係
TEL.092-643-3111(直通)

催しの際の火気使用時は消火器を!!

昨年、京都府福知山市の花火大会で発生した火災事故を受けて、当消防本部管内では、8月1日から催しで火気器具を使用する場合は、消火器の準備と消防署への届け出が義務付けられました。



- 対象の催し** 自治会が行う祭りや緑日など不特定多数の人が集まる行事が対象です。ただし、家族・友人だけのバーベキューや幼稚園の餅つき大会など、参加者が限定される行事は対象外となります。
- 対象の火気器具** コンロ、焼き物器、ストーブ、発電機など
- 届け出** 対象の催しに火気器具を使用する露店を出す個人や団体は、3日前までに消防署への届け出が必要です。届け出用紙は、久留米広域消防本部各消防署、消防本部ホームページに準備しています。

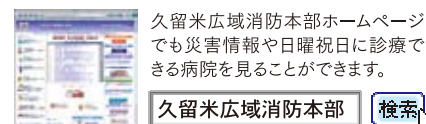
災害情報をメールでお知らせ

火災情報(発生時間、場所及び消火時間)を個人の携帯にメールでお知らせするサービスを行っています。
右のQRコードを読み取り、アクセスしてください
※メールの登録は無料ですが、通信費用は受信者負担となります。
※利用状況等の影響でメール受信が遅れたり、届かない場合があります。

携帯電話登録受付用メールアドレス



災害情報や日曜祝日に診療できる病院の案内電話番号
0180-999-789



ホームページアドレス
<http://www.fire-city.kurume.fukuoka.jp/fire/index.html>
消防に対するご意見・ご要望等ございましたらホームページからメールでお寄せください。

2014 vol.10 平成26年10月発行

久留米広域 消防だより

消防活動レポート 管内の各消防署では、地域と連携して様々な活動を行いました。



久留米消防署

5月13日(火)
14日(水)



水災害初動対応訓練

大善寺町の久留米西部河川防災ステーションにおいて、若手職員を対象に水災害初動対応訓練を実施しました。当日は、水防工法の基本である土嚢作りをはじめ、各種災害を想定した訓練の中で、全員が声を掛け合いながら初動対応の意思統一を図りました。



三井消防署

6月28日(土)



救命入門コース

大刀洗町立本郷小学校において、小学校5・6年生を対象に救命入門コースを実施しました。このコースは今年度から新設された救命講習で、受講した児童92名は、命の大切さやAEDを含めた心肺蘇生法を学びました。



浮羽消防署

5月25日(日)



うきは市総合防災訓練

吉井町の鶴原放水路において、うきは市総合防災訓練が行われ、浮羽署から35名、久留米署からは高度救助隊が参加しました。各種災害を想定した実践的な訓練を行う中で、各関係機関や地域住民と地域の連携を深めました。



三潁消防署

4月4日(金)



体験入署

三潁消防署において、防災協会事業所を対象とした新入社員の体験入署を実施しました。今年度は76名の参加があり、規律訓練、消火訓練、救命講習などを行いました。事業主からは、社会人としての規律・接遇が身につくと大変好評でした。



2大会連続九州大会出場!!

「第37回九州地区消防職員意見発表会」

情報指令課の山下正平消防士長(36)が消防職員意見発表会福岡県大会で優勝し、久留米広域消防本部から2年連続で九州大会への出場という快挙を成し遂げました。山下士長は、食物アレルギーの危険から子供達を守るため、実体験をもとに熱い思いを発表しました。



火災は消すだけでは 終わらない!!

消防署の仕事を
のぞいてみよう



火災が起こった際に、火を消すのは消防の大切な仕事ですが、それだけでは終わりません。二度と同じ火災が起こらないように、火を消した後も、私たちには大切な仕事待ち受けています。今回は、火災が起こってからの一連の消防署の仕事を詳しく紹介していきます。

火災発生!

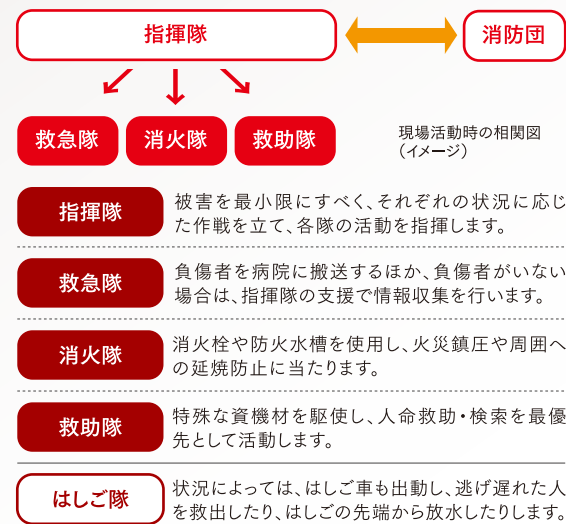


※写真はイメージです。



当消防本部では、建物火災の場合、消火隊が3隊、指揮隊、救助隊、救急隊がそれぞれ1隊ずつ合計6隊が出動し、互いに連携しながら火災を鎮圧します。

各隊の主な役割



現場での原因調査

火を消した後も活動は終わりません。全ての火災について、その原因を調査します。消火後のがれきの中から火災の原因を特定していくことは、時に困難を極めます。



火災調査書の作成



現場での原因調査をもとに、「火災調査書」を作成します。写真や図面等も合わせると、多いときには1件の火災で50枚以上の書類を作成することもあります。

統計に反映されます

火災種別、原因、時期など必要な情報を国に報告し、その結果、**火災予防対策**が私たちの生活に活かされます。

火災鎮圧! 残火処理へ...



懸命の消火活動で火災を鎮圧しました! 鎮圧後は消防団と協力し、再び火災が起こらないように残火処理を行います。

今回紹介したように、消防署は、火災を鎮圧した後も様々な活動を行い、火災予防に努めています。そして、その活動が少なからず皆さんの生活の中にも活かされているのです。皆さんの大切な家族、財産を守るため、今後も火災予防に御協力をお願いいたします。

聞いたことはありませんか?

- 例 火遊び防止のため、使い捨てライターの着火ボタンが固くなりました。
- 例 電化製品などで火災の危険性があるものは、リコール対象商品に指定されます。
- 例 類似の火災を予防するため、職員が立入検査や防火指導を行います。
- 例 消防法の改正につながります。

救急搬送時間 全国トップレベル!!! 消防本部管内の救急事情

救急搬送時間とは、119番で救急車の要請があってから、傷病者を医療機関に搬送するまでの時間を表します。最新の平成24年データによると、福岡県の平均は全国平均より約9分短く、平成21年から**4年連続で全国1位**となっています。なかでも、久留米広域消防本部管内では、**福岡県平均よりもさらに約4分短く、全国でもトップレベル**を誇ります。

【平成24年の救急搬送時間の比較】

全国	福岡県	久留米広域消防本部
38.7分	29.4分(全国1位)	25.8分



全国有数の恵まれた医療環境

全国各地で、救急搬送を受け入れる医療機関がなかなか見つからない事象が発生し、社会問題化しています。このような中、管内でこれだけの搬送時間を実現できるのは、**全国でも有数の恵まれた医療環境にあること**が背景にあります。このため、**傷病者の9割以上を管内の医療機関に搬送できています。**

今後は、昨年より運用している「派遣型救急ワークステーション」をさらに充実させ、安心の救急医療体制を強化するため、医療機関と連携を密にして救急業務に取り組んでいきます。

派遣型救急ワークステーションとは...
救急隊のレベルアップのため、医療機関内に救急車を待機させ、普段は病院内で実習を行いながら、救急要請に対しては、病院から現場に直行するシステムのことです。

人事行政の運営等の状況を公表します

久留米広域市町村圏事務組合(久留米広域消防本部)では、「人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づき、圏域のみなさんに、職員の任用、給与、服務等について平成25年度の概要をお知らせします。

【職員の任免及び職員数に関する状況】

①職員の採用及び退職の状況(平成25年度)		②職員数の状況(各年度4月1日現在)	
採用者数	退職者数	区分	消防職員
10人	16人	平成26年度	372人
		平成25年度	371人
		対前年度増減数	1人

(注) 職員数は一般職に属する職員数であり、休職者、派遣職員などを含み非常勤職員を除いています。

【職員の給与の状況】

①人件費の状況				
区分	久留米広域消防本部管内人口	歳出額(A)	人件費(B)	人件費率(B/A)
平成25年度(決算額)	423,653人	4,790,170千円	2,725,991千円	56.9%

(注) 人件費には共済費を含みます。

②職員給与費の状況						
区分	職員数A	給与費			計B	1人当たり給与費年額(B/A)
		給料	職員手当	期末・勤続手当		
平成25年度(決算額)	371人	1,234,597千円	397,396千円	472,782千円	2,104,775千円	5,674千円

(注) 職員手当には退職手当を含みません。

③職員の平均給料月額(平成26年4月1日)				④職員の初任給の状況(平成26年4月1日)			
区分	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢	区分	大学卒	短大卒	高校卒
消防職員	286,979円	373,432円	36.8	消防職員	185,800円	172,200円	155,700円

(注) 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる諸手当の合計です。

【職員の勤務時間その他の勤務条件の状況】

勤務別	1週間の勤務時間	勤務時間	
		8:30~17:15	7:45(1日)
毎日勤務職員	38時間45分	8:30~翌日8:30	15:30(1当務)
隔日勤務職員	38時間45分		

※その他詳細については、ホームページをご覧ください。